



「未来を拓く9年間」当別町小中一貫教育



令和7年度 重点目標 一人ひとりの学力向上と子どもの未来保障

	学習指導	生徒指導	地域と共にある学校
重点 課題	主体的・対話的で深い学びによる授業改革の推進（授業改革055）	いじめの未然防止、不登校支援の充実 自己肯定感・自己有用感の育成	地域一体となった特色ある学校づくりの推進
学 校	□AIドリル、ICT機器の利活用 □子どもの自己選択・自己決定の場の充実 □対話を重視した授業づくり □とうべつ未来学を活用した探究活動の充実 □すべての学級で一人一台端末を活用した多様な学び □家庭学習の拡充・習慣化	□心のコーディネーターとの連携による組織対応 □全ての生徒の発達を支える生徒指導 □支援を要する児童生徒の早期発見と対応 □子どもの居場所となるからふる等の有効活用 □家庭や地域、関係機関との連携	□体力向上に向けた家庭・地域との連携・協力 □部活動地域展開への準備・家庭への周知 □CS等の機能を生かした地域と連携・協働 □未来学における人材・地域資源の活用 □姉妹校との交流
委員会	□AIドリル活用促進 □感性を育てる教育の充実 □とうべつ未来学の事業推進 □各種研修による教職員のスキルアップ支援の充実 □ICT支援員との情報共有によるICT活用の促進 □一人一台端末の更新準備	□学校・家庭・関係機関等をつなぐ心のコーディネーターの派遣 □メタバースによる不登校支援の強化 □WebQUの結果データの活用の促進 □校内と校外の教育支援センターの巡回による人的支援 □児童生徒に寄り添う当別型複数指導体制の充実	□地域と連携した体力向上の促進 □部活動地域展開の推進 □CS等の機能の更なる充実 □とべっこランチを活用した食育の推進 □学習会やプログラミング教室等の多様な学びの提供